

環境負荷物質 削減取組みについて

1. 法規制動向
2. 材料における添加剤情報提供のお願い
3. グリーン調達ガイドラインより
4. お願い事項のまとめ

ANNEX

初物管理：4M変更に伴う材料情報提供のお願い

環境データ収集システムを通じた調査・報告のお願い

2025 / 3 / 11
日本精機株式会社 規制物質管理分科会

1. 法規制動向

主な環境負荷物質規制

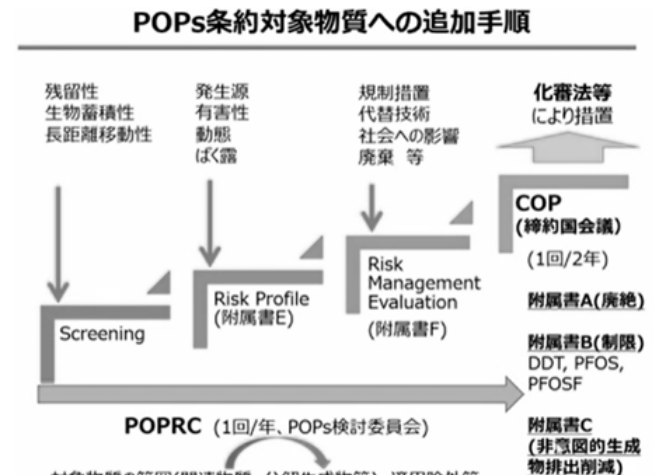
No.	法令	物質	主な用途	2024	2025	2026	2027	2028	
1	POPs条約 (各国地域担保法) ・化審法 ・EU POPs 他	PFHxS	消火剤・半導体製造	2024/2月規制開始					
		UV-328 デクロランプラス	紫外線吸収剤 難燃剤	2025/2月規制開始 UV-328量産品は5年間の猶予期間あり 両物質共に交換用部品は2044年迄、または耐用年数迄の猶予あり					
		MCCP LC-PFCA	難燃剤、金属加工油 界面活性剤	2025/5月COP12で規制確定 P.3に要求記載		2026年秋以降規制開始(予想)			
2	欧州RoHS指令 (車載用途は適用除外)	TBBP-A	エポキシ樹脂、難燃剤	P.4に要求記載			2027年頃規制開始(予想)		
3	欧州ELV指令	アルミニウム合金 中の鉛	放熱板他	P.5に要求記載					
4	欧州REACH規則	PFHxA	泡消火剤 半導体製造	2024/10月規制発効		2026/4月規制開始 対象：衣服類のみ			
		全PFAS	撥水・撥油加工	制限案審議中		法案決定(18カ月)		2027年頃規制開始(予想)	
5	米国TSCA (40 CFR 705)	全PFAS	撥水・撥油加工	2025/7~ 2026/1報告義務		PFASが必須でない用途は10年以内に 段階的廃止予定			
6	カナダ特定有害物質 禁止規則	全PFAS	撥水・撥油加工	2024/7~ 2025/1末迄報告義務		子供用品、衣類、家具、皮膚接触品、加えて 成形品中含有で年間100tを超える場合報告義務			
		DBDPE	難燃剤	WTOに通知済み、規制審議中		規制案は日中韓から反対意見あり延び延び			

1. 法規制動向

POPs条約(ストックホルム条約)

- ・中鎖塩素化パラフィン(C14～C17、塩素含有量45%以上) (**MCCPs**)
- ・長鎖ペルフルオロカルボン酸(**LC-PFCA**)とその塩及び関連物質
の2物質群に対し、POPRC.20(2024/9)においてリスク評価を検討され、
両物質への規制が決定された。

The screenshot shows the Stockholm Convention website. The main heading is "Stockholm Convention on Persistent Organic Pollutants (POPs)". The page is for the "Twentieth meeting of the Persistent Organic Pollutants Review Committee (POPRC.20)" held in Rome, Italy, from 23 to 27 September 2024. The venue is the FAO Headquarters. The overview text states that the committee decided to recommend listing Chlorpyrifos in Annex A. It also mentions that the committee specified exemptions for perfluorocarboxylic acids (PFCAs), their salts, and chlorinated paraffins with carbon chain lengths in the range C14-17.



5月のCOP12で廃絶対象物質として指定されることが濃厚です。含有品は初物事前申請書等を通じ切替えを推進願います。

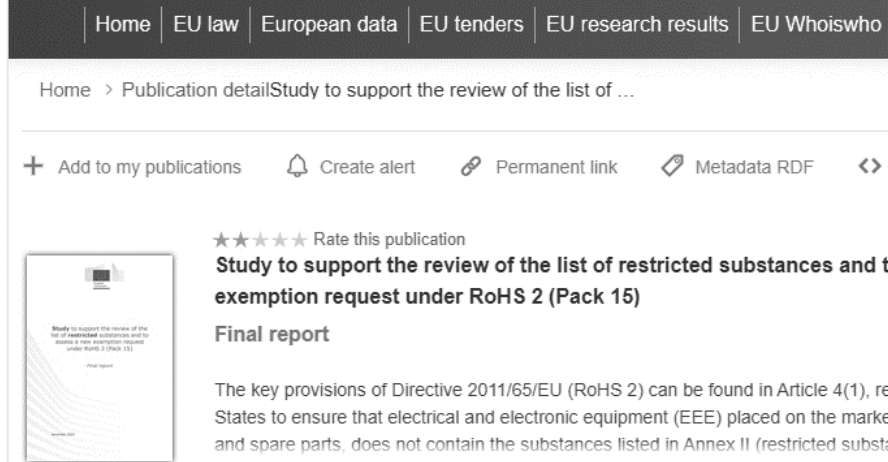
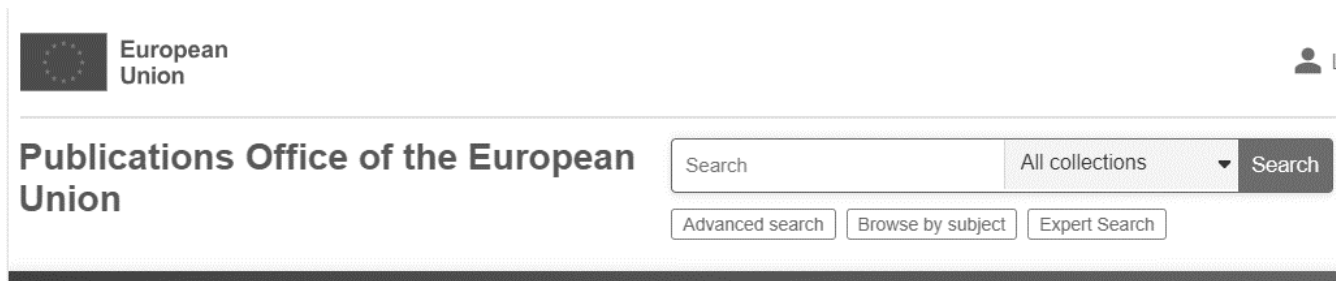
<https://www.pops.int/TheConvention/POPsReviewCommittee/Meetings/POPRC20/Overview/tabid/9850/Default.aspx>

1. 法規制動向

欧州RoHS指令の制限物質追加 ⇒ **TBBP-Aの追加が有力です**

欧州委員会は技術評価を経て、MCCPs及びTBBP-Aの2物質をEU RoHSのAnnex II（有害物質規制）に追加することを推奨しましたが、MCCPsはPOPs条約にて廃絶物質への追加が検討されている為、TBBP-Aのみの追加が有力です。

<https://op.europa.eu/en/publication-detail/-/publication/ce50dc9c-6c19-11eb-aeb5-01aa75ed71a1>



https://rohs.exemptions.oeko.info/fileadmin/user_upload/RoHS_Pack_15_Final_Report_2020_compressed_version.pdf

TBBP-Aは量産品のプリント基板(基材)や電子部品の樹脂部に難燃剤用途での含有が見られます。
RoHS指令改定日程は未定ですが、継続して規制動向を注視し、切替に対応下さい。
・顧客要求期限(個別規制)
・RoHS指令制限開始の1年前迄を目標に切替え完了願います。

1. 法規制動向

欧州ELV指令における免除用途見直し（アルミニウム合金中の鉛）

10.3.2023

EN

Official Journal of the European Union

L 73/7

ANNEX

ANNEX II

Materials and components exempt from Article 4(2), point (a)

A maximum concentration value of substances up to 0,1 % by weight in chromium and mercury and up to 0,01 % by weight in homogeneous materials

Spare parts put on the market after 1 July 2003 which are used for vehicles put on the market before 1 July 2003, except for wheel balance weights, carbon brushes for electric motors and brake linings, shall be exempt from Article 4(2), point (a), of Directive 2000/53/EC.

Materials and components	Scope and expiry date of exemption	shall be labelled or made identifiable in accordance with Article 4(2), point (b)(iv)
--------------------------	------------------------------------	---

Lead as an alloying element

2(c)(i). Aluminium alloys for machining purposes with a lead content up to 0,4 % by weight

Vehicles type-approved before 1 January 2028 and spare parts for these vehicles

鉛0.1wt%未満のこと

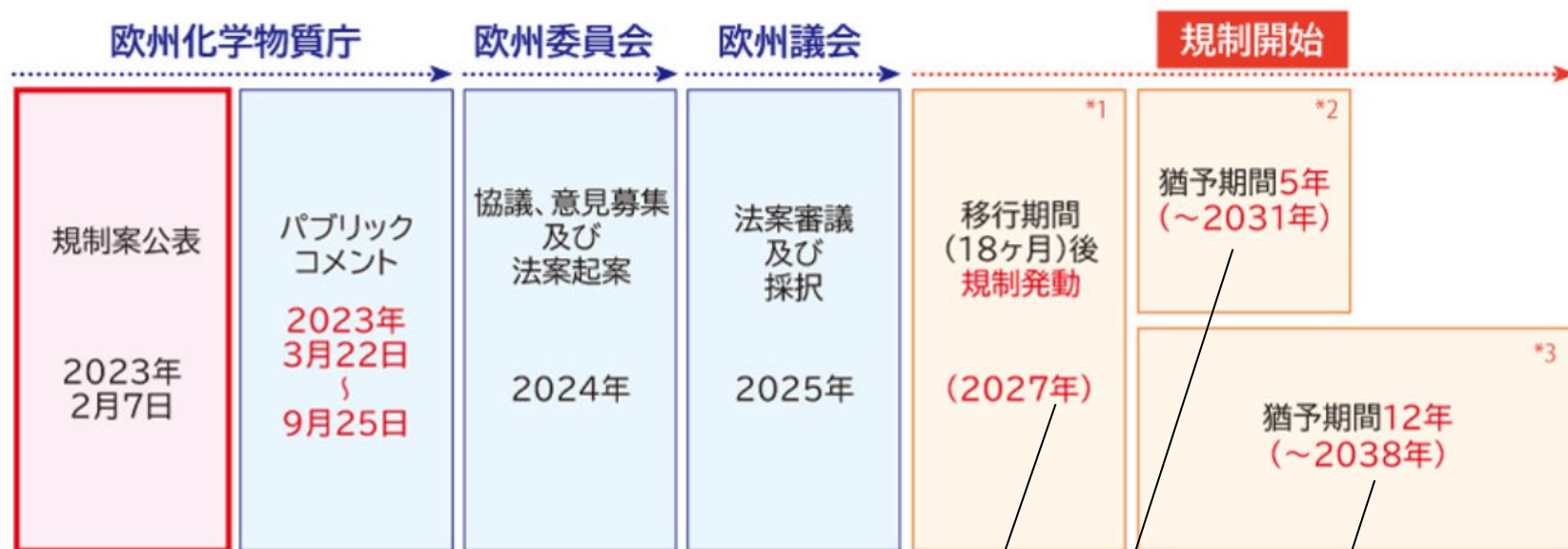
リサイクル材は免除

従来許容された0.4wt%までの鉛含有アルミニウム合金は、2028年以降の型式認定車から使用禁止となります。新規開発モデルからこの新ELVに準拠すべく、鉛0.1wt%未満に対応下さい。但しリサイクル材は引き続き免除されます。

71	2(a),(b),(c)(i) – Alloying element in aluminum for machining purposes	2(a),(b),(c)(i) – 機械加工を目的としたアルミニウム中の合金成分
72	2(c)(ii) – Recycled aluminum alloy containing unintentionally added lead	2(c)(ii) – 非意図的に鉛が添加されたリサイクルアルミニウム合金

1. 法規制動向

欧州REACH規則 PFAS規制の流れ



***1 規制発行日から18か月(1.5年)の移行期間を設けた上、PFASの生産・販売・使用を禁止。**

***2 代替物質が開発段階、または代替物質が十分に入手できない用途：猶予期間5年**

***3 代替物質がまだ特定されない用途：猶予期間12年**

2. 材料における添加剤情報提供のお願い

製品含有化学物質の報告に求められる各種材料については、添加剤用途物質も含め全て確実に申告願います→近年の規制対象物質！

●● 樹脂材料（プラスチック） / ゴム
ISO 1043 ISO 1629

●● 主材料+充填剤(フィラー)
ISO 1043-1/2

●● 顔料・染料

●● その他添加剤

近年規制された添加剤例

- 可塑剤** 例：4種フタル酸エステル類 ISO-1043-3
…欧州RoHS・REACH制限物質
※可塑剤TOTM(トリメリット酸トリス(2-エチルヘキシル))からフタル酸エステル類が副生する情報がある為、要申告のこと
- 難燃剤** 例：特定臭素PBB・PBDE ISO-1043-4
…欧州RoHS制限物質
DP(Dechlorane Plus)
… POPs条約廃絶物質
- 紫外線吸収剤** 例：UV-328
…POPs条約廃絶物質
- 潤滑用添加剤** 例：PFOA
…POPs条約廃絶物質
- 抗菌剤・防腐剤** 例：フマル酸ジメチル
…欧州BPR（殺生物性製品規則）

2. 材料における添加剤情報提供のお願い

前頁理由もありIMDSニュースレター62によって可塑剤・難燃剤の疑似物質見直しが行われました→隠れていた規制物質の申告要求

IMDSニュースレター62

https://public.mdsystem.com/documents/d/imds-public-pages/imds-newsletter62_ja

2. IMDS化学物質リストのISO 1043-3/-4の計画的実装

ISO 1043パート3および4の要件を満たす、より説明的な新しい疑似物質が追加されました。アクションを要約すると、次の疑似物質はIMDSの中で非表示になっています。

Adipate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Azellate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Dibenzoate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Fumarate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Maleate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
o-acetylcitrate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Phosphate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Phthalate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Polymeric plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Sebacate plasticizer ISO 1043-3, not declarable
Trimellitate plasticizer ISO 1043-3, not declarable

Halogenated compound ISO 1043-4, not declarable
Organic phosphorus compound ISO 1043-4, not declarable
Inorganic phosphorus compound ISO 1043-4, not declarable
Metal oxide, hydroxide or salt ISO 1043-4, not declarable
Boron or zinc compound ISO 1043-4, not declarable
Silica compound ISO 1043-4, not declarable
aliphatic fluorinated compounds, ISO 1043-4, not declarable

特定のFRコードを参照する、22個の新しい難燃性疑似物質が追加されます。これらは、難燃性化学物質がGADSLにリストされていない場合にのみ使用できます。

ISO 1043-4 FR(10) aliphatic/alicyclic chlorinated compounds, not declarable
ISO 1043-4 FR(11) aliphatic/alicyclic chlorinated compounds in combination with antimony compounds, not declarable
ISO 1043-4 FR(12) aromatic chlorinated compounds, not declarable
ISO 1043-4 FR(13) aromatic chlorinated compounds in combination with antimony compounds, not declarable
ISO 1043-4 FR(14) aliphatic/alicyclic brominated compounds (excluding hexabromocyclododecane), not declarable
ISO 1043-4 FR(15) aliphatic/alicyclic brominated compounds (excluding hexabromocyclododecane) in combination with antimony compounds, not declarable

3. グリーン調達ガイドラインより



現行グリーン調達ガイドライン(第13版)及び来月発行予定の更新版(第14版)から是非守っていただきたい内容を下記します。

自動車分野：GADSLの遵守

管理対象物質リストであるGADSLに記載された物質は、その閾値を超えて含有する場合、必ず報告をお願いします。また都度新規物質が追加され、稀に閾値も変化することから、**必ず“最新版のGADSL”での管理（含有報告）をお願いします。**

民生分野：chemSHERPA管理対象物質参照リストの遵守

管理対象物質リストであるchemSHERPA管理対象物質参照リスト（2回改訂/年）の収載物質は、必ず報告をお願いします。また都度新規物質が追加され、稀に閾値も変化することから、**必ず“最新版の参照リスト”での管理（含有報告）をお願いします。**

3. グリーン調達ガイドラインより



現行グリーン調達ガイドライン(第13版)及び来月発行予定の更新版(第14版)から是非守っていただきたい内容を下記します。

新規規制物質の把握と調査 (POPs条約など)

過去に管理対象物質では無かった為に申告されなかった規制提案物質が近年増えています。(例：PFASなど)

この為過去に調査済みであっても、新規規制提案物質の未申告が散見されますので、再調査して下さい。

規制提案物質の含有品は速やかに報告願います。

REACH規則SVHCの申告義務

欧州REACH規則では定期的に申告義務のあるSVHC(高懸念物質)が追加指定されています。 **製品に含有されていることが判明した場合、速やかに報告願います。**

調査フォーマット提出時期

- ・初物事前申請書 (4M変更) 提出時
- ・GADSL・chemSHERPAでの管理対象物質の追加、閾値変更により申告する必要が生じた時

など、速やかに指定フォーマットで最新の管理対象物質リストを用いた報告をお願いします。

3. グリーン調達ガイドラインより（調査フォーマット）

指定調査フォーマット	自動車分野	民生分野	備考
JAPIA統一データシート (通称JAPIAシート)	○ (日本国内)	×	管理対象物質（GADSL収載）は報告する義務あり。 及び材料のリサイクル目的の報告が必要な為、使用材料の構成物質は、 合計100%にする必要がある
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red;"> ※自動車分野は2026年10月以降、 自動車用途：IMDSに集約 建機用途：JAPIAシート継続 に分割される計画あり </div>			
IMDS 弊社企業ID：18363	○ (主に海外)	×	JAPIAシートに同じ
chemSHERPA ※RoHS規制物質精密分析 データも添えて下さい	×	◎	管理対象物質の報告のみであり 使用材料の構成物質は、 合計100%にする必要はないものの 添加剤用途物質は報告のこと・・・P.7参照 ※欧州SCIP情報は入力必須

自動車分野と民生分野では、報告すべき対象物質の違いや、材料のリサイクル情報の有無の違いから、使い分けが必要です。
弊社から指定するフォーマットでの提出をお願いします。

4. お願い事項のまとめ

項目	お願い事項	対応
法規	MCCP含有部品は材料の切替え をお願いします (含有品対象先のみ) 有機フッ素化合物PFASの規制前に含有品を特定、報告願います。	MCCP規制が2026年にも開始される予定 →早急な切替えをお願いします もし含有部品が判明したら速やかに報告と代替品への切替え申請をお願いします PFAS含有部品・副資材の特定と代替検討をお願いします
材料における添加剤情報提供	可塑剤・難燃剤疑似物質の見直しに伴い、 添加剤物質の申告 をお願いします	近年の規制物質の多くは、添加剤用途物質として使用されている例が多く、これまで可塑剤・難燃剤に対して疑似物質として申告された場合には、隠れた規制物質となってヒットしない為、再申告をお願いします
NSグリーン調達ガイドライン	必ず最新版をご確認いただき、最新の管理対象物質での情報伝達 をお願いします	弊社ホームページで最新版をご確認下さい https://www.nippon-seiki.co.jp/sustaina_en/ →管理対象物質の情報伝達をお願いします 車載：JAPIAシートまたはIMDSデータ 民生：chemSHERPA・RoHS規制物質精密データの提出をお願いします

ANNEX

環境負荷物質削減取組みと併せて遵守いただきたい項目を以降の頁へ記載いたします。

- ・初物管理：4M変更に伴う材料情報提供のお願い
- ・環境データ収集システムを通じた調査・報告のお願い

初物管理：4M変更に伴う材料情報提供のお願い

初物事前申請時の化学物質資料の提出

弊社顧客要求により、初物納入時に製品含有化学物質情報を提供することが求められています。この為、初物事前申請書と車載・民生用途で必要な資料をご提出いただきますようお願いいたします。

初物事前申請書 Advance Notice of Initial Production Parts	
*納入90日前迄に申請のごとく/Apply by delivery 90 days-前し、緊急時、上記日程が守れない場合は、出来る限り早く、NS購買本部へ打たし上げ日程調整を行ってください。	NS Ref No. QS -
*検査、試験など長時間を要する場合は、余裕をもって申請してください。	発行日/Issued on
However, please adjust it to launching, a schedule as soon as possible to the NS Sourcing Headquarters when in case of emergency.	取引先社名/Supplier Name
*Please apply with margin in a schedule when you take long time by inspection, tests, etc.	発行部門/Dept.
	責任者/Responsible Person
	担当者/Contact Personnel
	E-mail
	TEL
	納入予定日/Delivery Date

下記のとおり、変更許可申請いたします。/We apply to use IPP as following.

機種/NS Model(ex.HR0469)	部番/NS Parts No.(15digits)	部品名/Type of Parts
変更内容/Kind of change		
添付書類/Attached Documents		
注：必須書類は、品質保証管理本文を参照してください。 Note: For documents, refer to the List of SQI.		
<input type="checkbox"/> 1. 取引先変更・新規取引先利用/Supplier Change・New Supplier Adopted	a. 品質確認計画書/Quality Evaluation Plan	
<input type="checkbox"/> 2. 設計変更(取引先都合)/Design Change	b. 妥当性確認方針(信頼性試験等)/Quality Verification Policy	
<input type="checkbox"/> 3. 材料変更/Material Change	c. 生産能力検証結果/Production Capacity Verification Result	
<input type="checkbox"/> 4. 加工条件・方法変更/Method Change	d. 工程能力検証結果/Process Capability Verification Result	
<input type="checkbox"/> 5. 工程系列変更/Process Change	e. 工程品質管理表/Control Plan	
<input type="checkbox"/> 6. 機械・設備変更/Tool Change	f. 納入仕様書/Specification Sheet	
<input type="checkbox"/> 7. 治工具変更/Jig, Tool Change	g. 化学物質資料/Chemical Substances Data	
<input type="checkbox"/> 8. 金型変更/Die, Mold Change	h. 納入仕様書/Specification Sheet	
<input type="checkbox"/> 9. 検査方法変更/Inspection Change	i. 検査仕様書/Inspection Specification Sheet	
<input type="checkbox"/> 10. 搬送方法・荷姿変更/Transportation, Packing Change	j. 検査成績書/Inspection Data Sheet	
<input type="checkbox"/> 11. その他(原産国変更等)/Other(Country Origin Change)	k. サンプル/Sample	
目的・理由/Reason ※不良対策による変更の場合はNSQ No.を記入ください。/If reason of this change is countermeasures for us, please fill in NSQ No.		
NSQ No. NSQ -		
詳細内容/Change Details		
変更によって影響を受ける品質特性と問題なしとする理由/Reasons for quality not to be impacted by this change		

注：太枠内は発行元で記入してください。Note: please fill the boxed areas with bold lines by the applicant.

NS処理欄/NS staff use only	
NS品質保証/NS QA Results	化学物質資料/Chemical Substances Data OK NG
初物表示/IPP Indication	注記
NS納入時/To NS	NS現法納入時/To Overseas
NS納入時/To Customer	
車載 (Meter)	(HUD)
民生 (Consumer)	
製品属性/Product Type	品質変更(10桁目)/Sequence up
	注記

受付 / Received		決裁 / Approved	
日付	年月日	年月日	年月日
印名		印名	印名

<input type="checkbox"/> g. 化学物質資料/Chemical Substances Data

添付書類のg項目として、「化学物質資料」を明記

詳細は、NSグリーン調達ガイドライン 6項(2)に従い、下記を提出してください。

- 車載用途の場合：
 - JAPIA統一データシート または IMDS
 - 民生用途の場合：
 - chemSHERPA
 - RoHS不使用保証書,
 - RoHS規制物質精密分析データ
- さらに、上記以外の資料が必要な場合は、担当者の指示に従い、対応してください。

↓「3.材料変更」等によって材料変更発生の場合

化学物質資料/Chemical Substances Data	OK <input type="checkbox"/>	NG <input type="checkbox"/>
---------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

化学物質管理部門の判定欄を追加し、OK判定でないと、申請は許可されません

環境データ収集システムを通じた調査のお願い

環境データ収集システム

<https://www.ecov3.nippon-seiki.co.jp/ECODUCE/login/OpenWeb.do>

弊社からの調査依頼を受信されましたら
本システムにてご確認いただき、
調査結果を本システムへ登録いただきます
ようお願い致します。

以下の徹底を是非お願い致します。

①. 回答納期遵守

回答希望納期：自動車分野：概ね3週間以内

民生分野：概ね2週間以内

②. 納期遅延発生判明時の早期連絡

③. 社内教育訓練によるJAPIAシート作成力量確保

④. 次頁、環境データ収集システム内、担当者様変更登録

LOGIN MENU(Supplier Only)

Language Japanese English Chinese (Simplified)

Login ID

Password

Enter your login ID and password

Login

<<利用規約>>

当サイトの利用については、利用規約に必ず同意頂き、ご利用ください。
なお利用規約については、事前の通知なく変更できるものとします。
将来変更され
利用者は変更

日本精機株式会社 調査回答 ツール

調査依頼一覧

■利用規約に
1. 日本精機株式会社

取引先会社名: 代理ユーザー
取引先会社ID: Agent

戻る 受領確認 CSV出力

1 移動 8 records

取引先依頼番号	調査依頼者	回答件数	調査依頼日 (YYYY/MM/DD)	受領確認状況	調査内容	回答期限日 (YYYY/MM/DD)	
REQ0032566	代理ユーザー	0/1	2015/02/20	確認済	JAMA Ver.2.30	2015/03/16	HRC-002調査
REQ0032484	代理ユーザー	0/1	2015/02/19	確認済	JGPSSI	2015/03/12	
REQ0032483	代理ユーザー	0/1	2015/02/19	確認済	RoHS不使用保証書	2015/03/12	
REQ0032482	代理ユーザー	0/1	2015/02/19	未確認	RoHS分析データ	2015/03/12	
REQ0032481	代理ユーザー	0/1	2015/02/19	未確認	AIS Ver.4.1	2015/03/12	
REQ0032277	代理ユーザー	0/1	2015/02/13	確認済	JAMA Ver.2.30	2015/03/06	SZ2-071調査
REQ0027201	代理ユーザー	0/3	2014/07/10	確認済	AIS Ver.4.1	2014/07/17	顧客要求により、至急回答が必要となりました。申し訳ござ
REQ0025046	代理ユーザー	2/3	2014/05/22	確認済	RoHS分析データ	2014/05/30	以前に品番xxxxxxxx90xxxxでRoHSデータをご提出頂

環境データ収集システムを通じた調査のお願い

システムにご登録いただいているご担当者様に変更になる場合、速やかに下図担当者情報の変更をお願いします。
⇒調査依頼は登録されるEメールアドレス宛てに自動配信されます。
誤った担当者情報が調査の遅延の原因になっています。

環境データ収集システム
操作説明資料

2014年1月30日
日本精機株式会社
Ver.1.02

お取引先様情報

更新 リセット

お取引先情報

取引先会社ID	supplier001
取引先会社名	supplier001

担当者情報1

担当者氏名	担当者1
部署名	
所在地	
電話番号	
Fax番号	
Eメールアドレス	

担当者情報2

担当者氏名	
部署名	
所在地	
電話番号	
Fax番号	
Eメールアドレス	

担当者情報3

担当者氏名	
部署名	

Eメールアドレス

パスワード変更

パスワード	※パスワード変更における注意事項 1.文字数は8桁以上入力してください。(8文字以上を推奨) 2.英大文字、英小文字、10進数基数、アルファベット以外の文字の3種以上を必ず使用してください。 3.英字の大文字/小文字は区別されます。 4.記号については以下を除き、使用可能です。 使用できない記号 5.空白(スペース)は使用できません。 6.取引先会社IDと同じ文字列のパスワードは登録できません。
パスワード確認用	

パスワード

パスワード確認用

戻る設定

一覧表示の行数 4

パスワードは必ず他のご担当者様との共有をお願いします。

EOF